

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	健康科学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部2年生	学期及び曜時限	後期 水 7	教室名	802
担 当 教 員	樋口 舞	実務経験と その関連資格			

《授業科目における学習内容》

前半は「健康とは何か」を、講義やディスカッションを通して学ぶ。そして、健康に繋がる身体構造については、演習の中で身近な生活と絡めて説明し、用語で学ぶのではなく流れで伝え、理解に繋げていく。3、6回目で内容を復習する小テストを実施。毎回の授業内で簡易なレポートを作成し、理解度を把握する。

《成績評価の方法と基準》

定期試験50%、小テスト30%、レポート20%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

テキスト健康科学 改定第2版 南江堂
解剖生理学ハンドブック

《授業外における学習方法》

事前の予習としては下記に提示している教科書の範囲を読む。
また習った範囲については自宅学習やクラスメイトとの学習にて理解を深める。

《履修に当たっての留意点》

健康とは何かを考え、健康な生活を続けるためには何が大切なのか、自分や家族の生活も絡めて考えて見ましょう。また、自分の体の構造について体を動かし、楽しみながら学んでいきましょう。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標 健康とは何かWHOの定義について述べるができる。 定義を知り、それを自分の生活と絡めて考察することができる。	教科書	教科書P1～12、P28、29～を読み、分からないことの確認。
	各コマにおける授業予定	健康の定義 「健康」とは何か、定義と疾患の予防について学ぶ		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標 嚥下の経路についての説明ができるようになる。	教科書 ハンドブック	教科書P14～16を読み、分からないことの確認。
	各コマにおける授業予定	人の心身と健康を知る 人体の構造を学び、食べることに関する経路を理解する		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標 嚥下したものが排泄されるまでの流れを説明できるようになる。	教科書 ハンドブック	教科書P75～85を読み、分からないことの確認。
	各コマにおける授業予定	人の心身と健康を知る 人体の構造を学び、消化と栄養について学ぶ ①小テスト		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標 食べることで起こる進退への影響について説明することができる。	教科書 ハンドブック	教科書P75～85を読み、分からないことの確認。
	各コマにおける授業予定	人の心身と健康を知る:食と栄養、運動についての繋がりを学ぶ		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標 三大生活習慣病とそれに対する予防について述べるができる。	教科書 ハンドブック	教科書P18～20、97～103を読み、分からないことの確認。
	各コマにおける授業予定	人の心身と健康を知る:心身の機能と生活習慣病の繋がりについて学ぶ		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	健康と生活習慣の繋がりについて説明することができる。	教科書 ハンドブック	教科書P128～135を読み、分からないことの確認。
		各コマにおける授業予定	人の心身と健康を知る:生活習慣と健康について学ぶ ②小テスト		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	健康についてわが国が取り組んでいることを列挙することができる。	教科書 ハンドブック	教科書P235～238読み、分からないことの確認。
		各コマにおける授業予定	保健・医療制度と健康政策		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	各回のポイントについて説明できる。	教科書 ハンドブック	
		各コマにおける授業予定	試験前のまとめ講義		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			